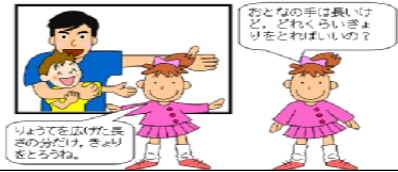


# あなたは お子さんを犯罪から守るために 何かしてありますか？

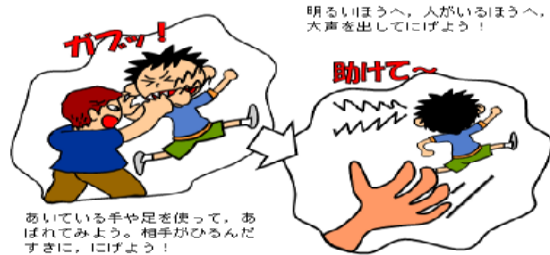
～ お子さんの危険回避能力を養いましょう ～

子どもに対する不審者からの声かけ事案や子どもをねらった犯罪が多発しています。子どもの安全を確保するためには、保護者はもとより、地域住民、事業者、民間の関係団体、学校等、行政等さまざまな人たちが協働・連携して、地域ぐるみで子どもを守り育む取組が必要です。特に、食事や団らんの場などを通じて行く、家庭での取組が重要です。身近なところに様々な危険が潜んでいることを理解させましょう。また、犯罪被害に遭いそうになったときの対処方法について話をしてあげましょう。

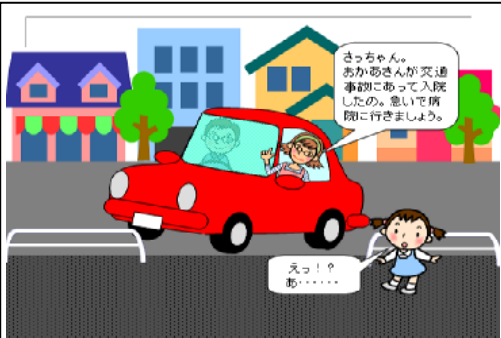


## つれさられないために……

- 「おいで」といわれても、ついて行かない。
- 大人と話すときは、すこし、はなれる。  
※ りょうでをひげに長さのだけ、きょりをとらうね。
- ことわっても、しつこく言うてくるときは、人のいるほうへにげる。



あいている手や足を使って、あばれてみよう。相手がひるんだときに、にげよう！



## 車でつれていかれないために……

- 道路やちゅうしゃじょうにとまっている車に注意しよう。  
※ 車のそばであそばない。
- しらない人の車にはぜったいにのらない。
- 車にひっぱりこまれそうになったら、大声を出したり、ぼうはんブザーをならして、走ってにげる。
- ひどりにならない。ひとりであそばない。



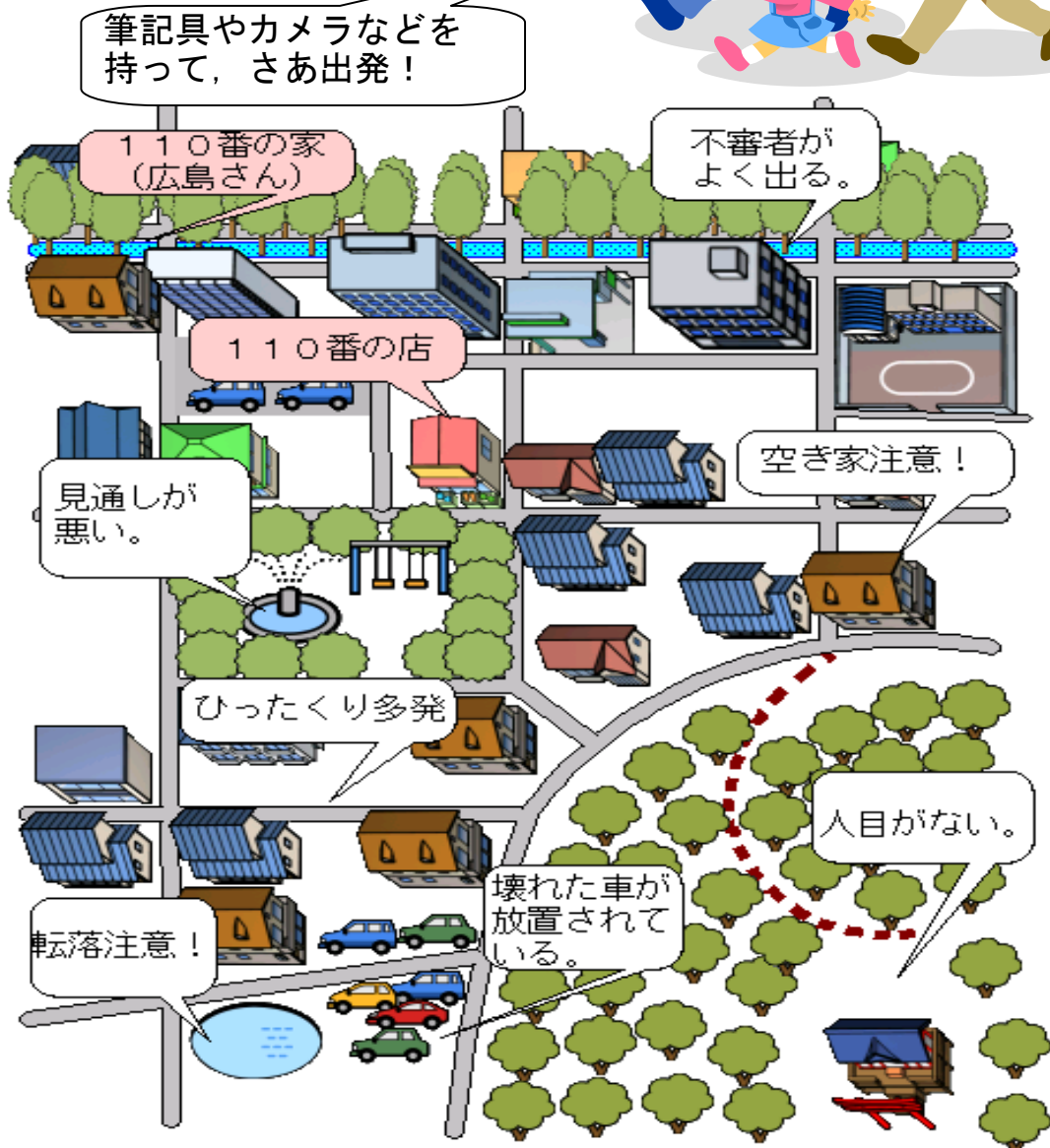
## 家の中にはいられないために……

- かぎをブラブラさせて持ち歩かない。
- 家についたら、まわりを見て、へんな人がいないかどうかたしかめる。
- だれもいなくても大きな声で「ただいま！」と言って家にはいる。
- 一人ですばんをしているときに、人がきても、ぜったいに家にいれない。

# あなたは お子さんを犯罪から守るために 何かしてありますか？

～ お子さんと一緒に地域を探検してみましょ～

子どもは好奇心が旺盛です。人気のない場所であろうが、  
廃屋であろうが、行ってみたいと思えば、おかまいなしです。  
でも、そんな場所に危険が潜んでいるのです。  
大切なお子さんが犯罪被害に遭わないためにも、  
お子さんの活動範囲を家族で探検して、危険な場所  
を把握しましょう。  
そして、危険な場所を発見したら、どうして危険なの  
かをしっかり教えてあげましょう。



地域を探検したら、地域安全マップを作ってみましょう。

危険な場所や入りやすく見えにくい場所を、子ども自身が地図に書き込むことによって、犯罪が起こりやすい場所を予測する力が身につけることができます。